

自治体3.0のまちづくり

～まちのプレイヤーをつくる～

H30.5.15 シティプロモーション研究会

こむらさき まさし

生駒市長 小紫 雅史

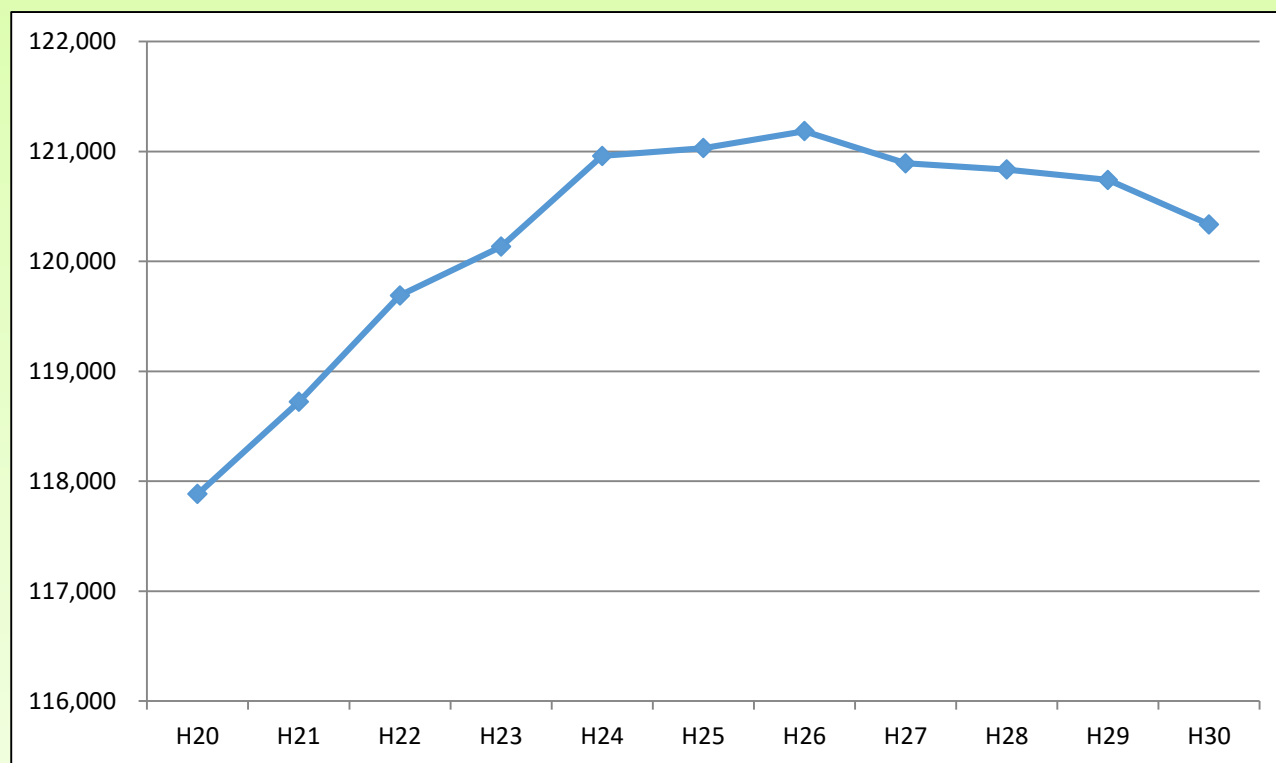


I 生駒市を取り巻く状況



課題① H27年から人口減少期に

生駒市の人口の推移



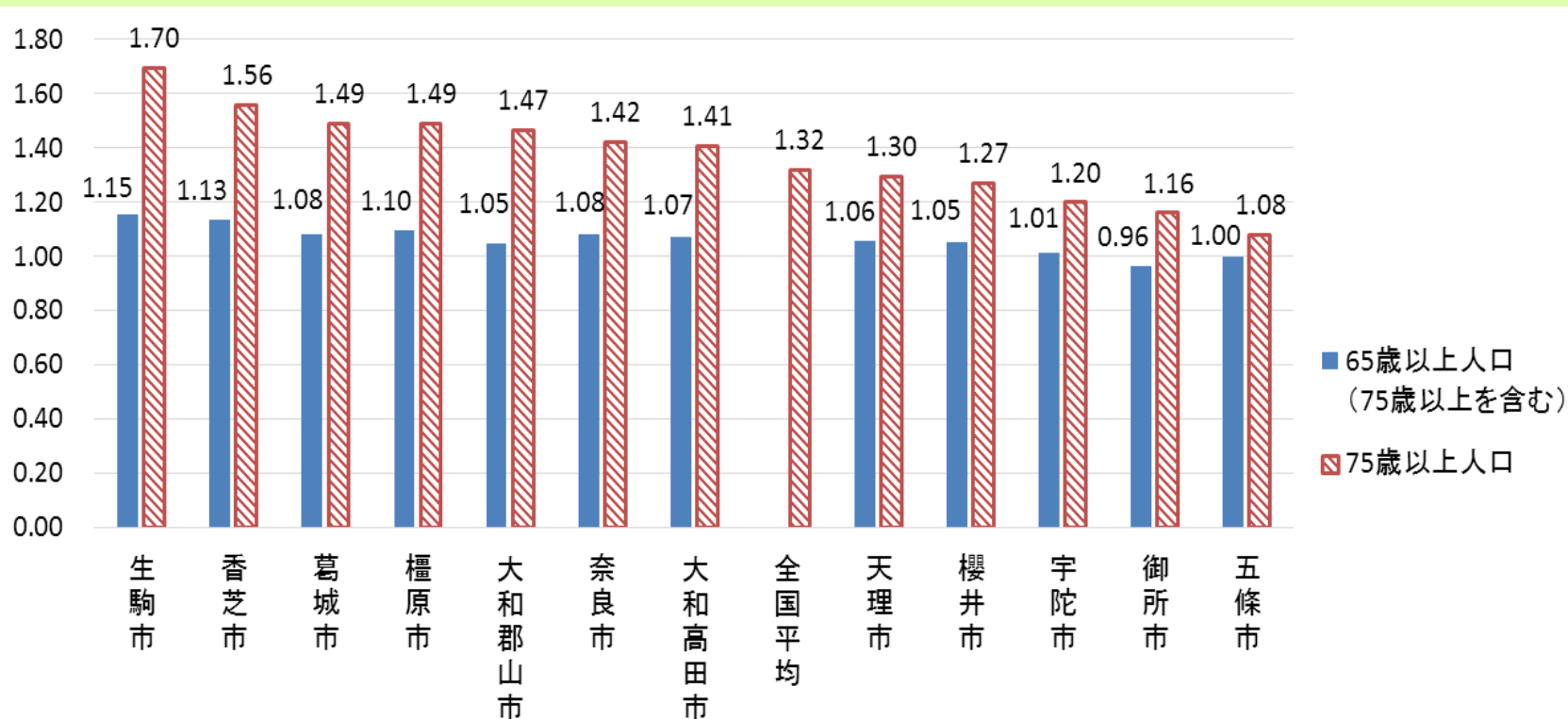
平成26年
121,185人



平成30年
120,336人

課題② 高齢化の急速な進展

奈良県内12市における75歳以上人口の伸び率の比較
(2015年から2025年にかけて)



生駒市の高齢化のスピードは、**全国トップ5%**

課題③ 全国最低レベルの地域消費

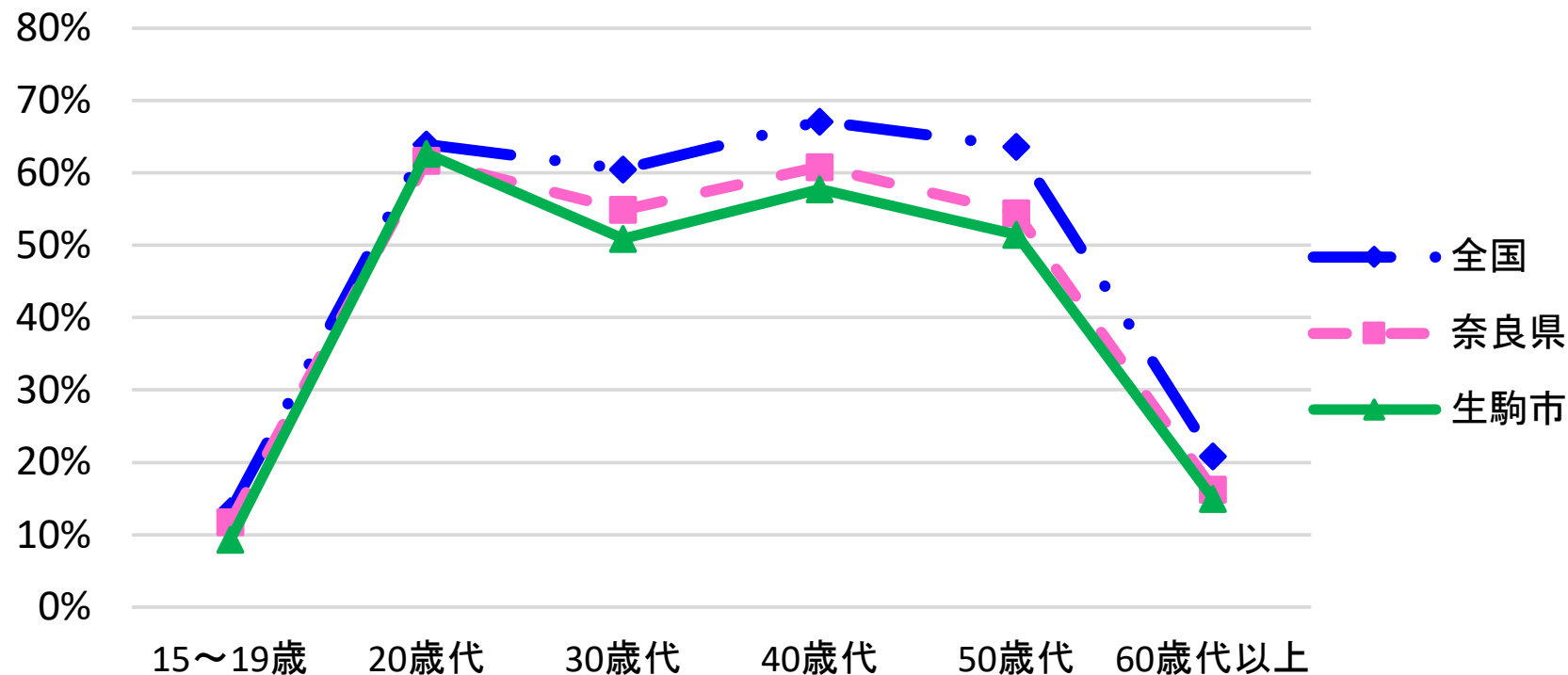
住宅都市の生駒は、**産業・観光**の振興施策が不十分

都道府県別「他の都道府県」での購入割合（二人以上の世帯）

順位	都道府県	他県での購入割合(%)	地域差※
1	奈良県	15.2	172.7
2	岐阜県	13.7	155.7
3	埼玉県	13.6	154.5
4	佐賀県	12.8	145.5
5	神奈川県	12.5	142
6	三重県	12.0	136.4
7	滋賀県	11.6	131.8
8	千葉県	11.5	130.7
9	東京都	10.7	121.6
9	京都府	10.7	121.6

※全国平均(8.8%)=100として換算

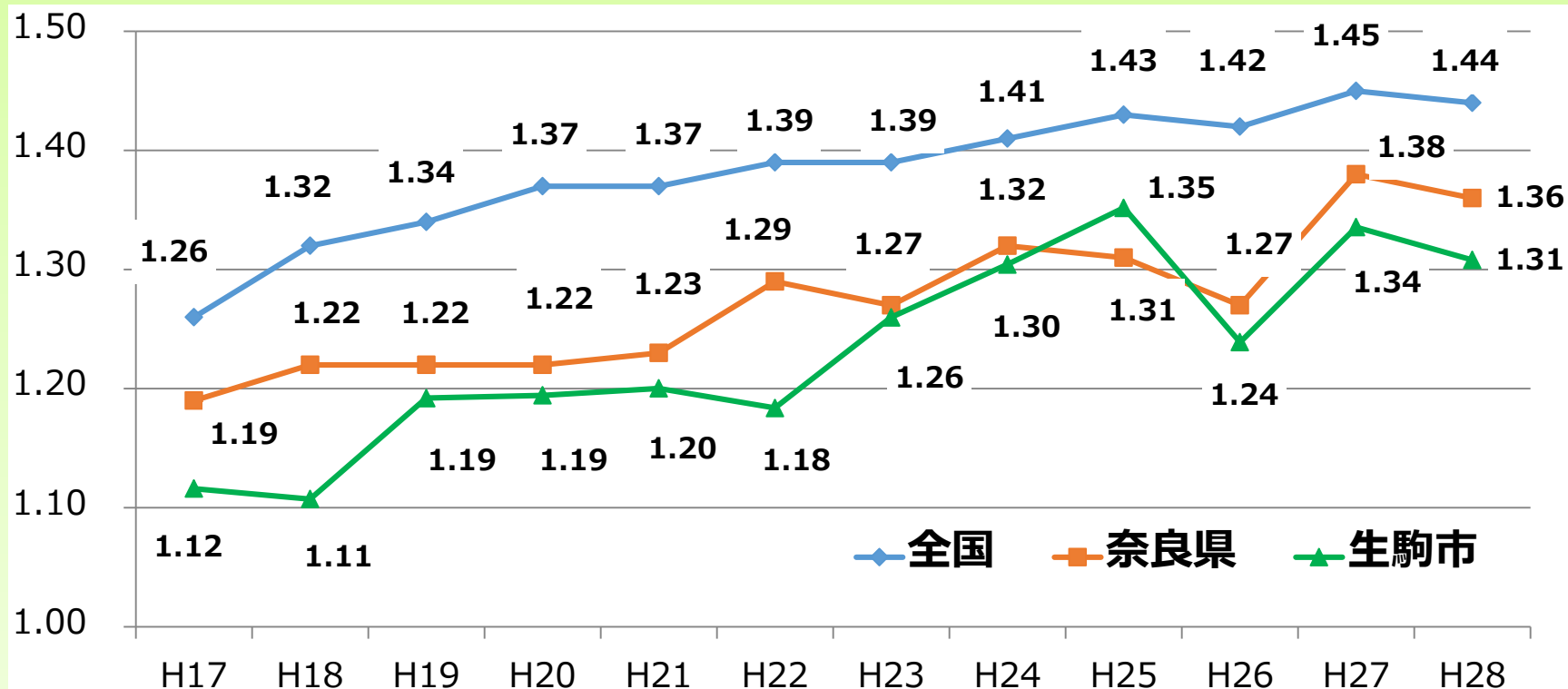
課題④ 低い女性就業率



生駒市の女性の就業率は、**全国最低レベル**

課題⑤ 低い出生率

合計特殊出生率の推移



生駒市の出生率は、**全国・奈良県よりも低い**

Ⅱ まちづくりのビジョン



自治体3.0のまちづくり

	自治体2.0	自治体3.0
市民との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民 = お客様 ・ 行政主導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民と共に汗をかく ・ 協創
基本目的	差別化	価値創造
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズに応える行政 ・ 民間企業に負けない！ ・ 「市民満足」の追求 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちを楽しむ！ ・ みんなの課題はみんなで解決！
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市外の人を呼び込む！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内在住者の満足度 ↑ ・ (結果として) 人口流入・定住

⇒ 地域に関わったほうが市民満足度・定住希望率 ↑



ダイバーシティ

divercity

ベッド
タウン



ワーク
ライフ
バランス



仕事
Work

家庭
Life

地域社会

Community

ワーク・ライフ・コミュニティ の融合

生駒市の定住意向は**85.1%**



自治体3.0の実現には
市民力 = 地域愛 + 行動力が不可欠！

市民と事業者・行政が
共に汗をかきまちになることで
地域活力・地域魅力を向上





Ⅳ シティプロモーションの活用



従来型の転入促進事業の限界

①子育て・教育施策のまち「いこま」

⇒**7割以上**が行政サービスを

調べずに転入、差別化が困難

②利便性の高いまち「いこま」

⇒**都心回帰、都心部の住宅供給過多**

人口増加に頼らない地方創生

活路はまちのファンづくり

単なる人口ではなく、まちの当事者
(生駒の文化や色を創る人)を増やす場づくり

① 「地域に関わること

= 楽しいこと」の見える化

② 「自己実現が可能なまち」の

イメージづくり・情報発信

女性の自己実現を応援する事業



ファミリーイベント



職住近接を実現した女性を紹介する冊子



ママボノ



起業支援講座



**人やコミュニティなど生駒らしさを
発信することで、生駒に惚れる人を
増やしていく**

**→事業者・専門家など外部の力も
活用し、協創の幅を広げる**

